

平成 26 年度 長岡市・三島郡生徒指導部 活動報告

部長 植木 志郎

1 研究主題（基本方針）

- (1) 全職員が一体となった校内指導体制の確立をはかり、心の通った指導ができるよう指導・援助する。
- (2) 児童の理解を深め、児童の自発性・自主性、自律性を促す生徒指導ができるよう指導・援助する。
- (3) 各学校間や家庭、地域関係機関との連携を密にし、協力して指導に当たる。
- (4) 「長岡っ子の家庭生活 Vol. 3」を活用した指導の充実を図る。

2 研究の概要・実際（主な取組）

- (1) 生徒指導講演会（6月19日：長岡リリックホール）
演題・「いじめって何ですか？ いじめに対する大人の認識を考える」
講師・NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事
小森 美登里 様
- (2) 児童交歓会（8月21日：新町小学校）
長岡市内の全小学校の児童会代表が一堂に会する。テーマは「自らの力で自分たちの生活をつくり上げる児童会をめざして～絆を深める取組を中心に～」である。
レクリエーションで緊張をほぐした後、6つの分科会に分かれて「全校が仲良くなるための委員会活動」「縦割り班活動とあいさつ運動」などの取組を紹介し合うとともに、日ごろの運営の悩みなどについて意見交換を行った。
- (3) 生活指導主任研修会（5月16日：長岡市中央公民館、10月15日：長岡市立劇場）
第1回・「長岡市いじめ防止基本方針」運用研修会
第2回・講演「小学校で大切にしてほしいこと」、研修「青少年のネットトラブル」
- (4) 関係機関との連携（10月15日：長岡市立劇場）
「小・中・特別支援学校生徒指導連絡会」を開催した。また、長岡市教育委員会と連携した子どもふれあいサポートネットワーク、保護司会、警察(学警連、少年サポートセンター等)、市P連等関係機関との連携推進に努めている。
- (5) 「いじめ見逃しゼロスクール」の実践と取組
各学校では、いじめ見逃しゼロに向けて、生活アンケートや教育相談、縦割り班活動、児童集会、友達のよさを紹介する掲示等、様々な活動を展開した。
- (6) 小中連携推進事業（教育委員会との連携）
各中学校区では、小中連携を推進するため年複数回の授業公開と研究協議、及び地域にも公開する「いじめ見逃しゼロスクール集会」や「地域連携フォーラム」等を実施し、「中1ギャップ」等の課題解消を図っている。

3 成果と課題

市内各校では、「長岡市いじめ防止基本方針」を基に「学校いじめ防止基本方針」を策定・公開し、いじめ防止等のための実効的な取組を推進している。また、不登校や問題行動、発達障害等の課題についても適切な対応に努めている。

今後も、全教職員が一体となった校内指導体制の確立を図るとともに、生活指導主任を中心とした教職員の研修機会の充実及び各校の情報交換や実践紹介等の交流機会の充実に取り組む必要がある。